

公表 事業所における自己評価結果

事業所名 放課後等デイサービスすてら

公表日：令和7年3月27日

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		◆活動スペースは子ども達が安心・安全に過ごすことのできる環境を整備して楽しく活動できるよう配慮しています。また、活動内容に合わせて使用する部屋・エリアを分ける、物の配置を整理するなどの工夫をしています。	個別ブースが無く、集中して取り組みたい時などにも現状は他の児童が行き来をする場所で行っているため、個別ブースの設置を検討して行きたいと考えています。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		○	◆法令に定められた人員基準+加配職員を1名配置しています。 ◆職員の得手不得手を把握し、役割分担や連携できる体制を整えています。	◆活動内容等によっては手が足りていないと感じる場面もあり、より充実した支援を行うため、職員一人ひとりのスキル向上に努めて参ります。今後、男性職員の配置も検討して参ります。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		◆今年度は、コート掛けの改善を行いました。以前のフック+ハンガーよりも掛かけやすくなり身支度に係る時間が短縮できた児童もいる様子です。	◆体の小さい児童にはトイレの便座が大きすぎるため、補助便座の購入を検討中です。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		◆整理・整頓、清潔を心掛け、その時々の子どもの姿に合わせた環境作りを行っています。	◆一部の活動には適さず、環境整備が行き届いていない箇所もあります。今後は個別ブースの設置など常により良い環境作りを心掛けて参ります。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		◆事務スペースの横や応接室等、児童の状況を見ながら必要に応じて使用することを認めています。	◆本人の申し出によるものであっても、その対応がベストであるかどうかを見極める、時間を決めて使用させる等の対応が必要だと考えています。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		◆日々の療育を振り返り「より良い支援を提供するために」という視点で反省点や今後に向けたポジティブな意見を出し合っています。 ◆療育環境を整備するために日頃から意見を出し合い、実施しています。	◆一部の職員で行っていること(環境整備など)も多く、今後は「業務改善会議」等の場を設け、広く職員が参画していけるよう努めて参ります。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		◆保護者様からの貴重なご意見やご要望等を知ることができました。職員全員で内容を共有し業務改善に繋げて参ります。	◆保護者様に周知が行き届いていない情報等がありましたので、今後一つひとつ丁寧に対応して参りたいと考えています。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		◆毎日の打ち合わせやフレームワークメモ等により、支援の事例検討を行っている。また、年に2回代表との面談を行い業務改善に繋げている。	◆忙しさからメモの取り忘れも多く、検討したい事例そのものを失念してしまうこともあり、改善が必要だと考えています。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	◆相談支援事業所や他の事業所との意見交換等の機会を活用し、業務改善に繋げています。	◆現在のところ、第三者による外部評価は実施しておりません。今後必要に応じて実施を検討して参ります。
10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		◆外部のオンライン研修等を積極的に活用し、受講しています。 ◆令和6年度の実績 『児童発達支援管理責任者 実践研修』受講実績：1名、『強度行動障害支援者養成研修（基礎）』：2名	◆今後も外部研修や勉強会の機会を積極的に設けると共に、研修時間の確保や必要な内容を網羅的に行えるよう配慮し、職員の資質の向上に努めて参ります。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		◆今年度の初めに支援プログラムを作成し、当事業所のホームページにて公表しています。この3月に改訂版を作成・公表しました。	◆今後も定期的に見直しを行い、より良い支援を目指して参ります。
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		◆基礎研修修了者のOJTを兼ねて原案の作成を分担したり、職員全員で支援内容を検討する会議を開催しています。	◆長期休暇中は打ち合わせができる時間に限りがあり、児発管に任せきりになってしまうこともあり、課題です。

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
適切な支援の提供	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		◆計画や支援記録は療育システムにより職員間で共有し、共通理解の下支援を行っています。	◆ICT化によりペーパーレス化は進んでいるが、PCの苦手な職員には難しい操作もあり研修が必要だと感じています。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		◆病院で行ったWISC等の検査結果と併せて、事業所で作成したアセスメント(困っていること)シートを活用しています。また、日々の行動観察により一人ひとりの成長・発達段階や困り感を把握しています。	◆必要に応じて標準化されたアセスメントツールの導入等も検討して参ります。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		◆保護者様との面談のほか、送迎時等に支援ニーズの把握に努め、本人主体の目標の設定や具体的な支援内容設定している。	◆早期に目標を達成した場合など"今"の姿に合わせた目標の再設定に時間を要することがあるため、速やかに行なえるよう改善が必要だと考えています。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		◆公共施設等での見学体験や自然体験、余暇活動等、職員全員で意見を出し合い立案・企画しています。 ◆自発的な"遊び"の中から「生きる力」を育む環境を整えています。	◆月案や日案など、一部の職員だけではなく職員全員で話し合い共有できる場を設け、準備なども分担して行っています。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		◆日々、児童の何気ない一言や好きなこと、興味・関心のあることをヒントにインターネット等により情報収集し、職員間で共有して意見を出し合い、オリジナルリティのある活動を企画しています。	◆今後は五領域を網羅的に支援していけるよう、職員全員で話し合い共有できる場を定期的に設け、新たな活動の立案や既存の活動の改善等を行って参ります。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		◆一人ひとりの子どもの現状に応じた支援計画を作成し、子ども達の"今"の姿を的確に捉え、適宜個別活動と集団活動を効果的に組み合わせ支援しています。	◆職員全員に共有するとともに、今後も一人ひとりの成長を見守りながら現状に合わせた支援をして参ります。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		◆支援の開始前には、送迎の確認や活動内容の確認、役割分担の打ち合わせを必ず実施し、サービス提供時間内においては些細な内容も都度情報共有するようにしています。	◆それぞれが担当業務にかかっている際には情報の伝達が不十分だったと感じる場面もあるため、朝礼等の職員全員が手を止めて情報共有する場を設けて参ります。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		◆送迎終了後に、一人ひとりの児童の様子、成長を感じた場面や困り感を共有し、支援内容を記録しています。	◆課題や対応方法など、職員間で意見を出し合い、翌日以降の支援に繋げて参ります。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		◆HUG(療育システム)にて日々の支援内容を記録しています。 ◆指導法や言葉がけ等、支援について職員間で事例検討・改善しています。	◆職員による指導法や言葉がけに差異もあるため、より細かな共通認識を持てるよう努めて参ります。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		◆定期的にモニタリングを実施し、児童の現状把握と振り返りを行った上で、支援内容の見直しを行っています。	◆本人や保護者様の意向などを考慮しながら適切に判断して参ります。
関係機関や保護者との連携	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		◆でき得る限り基本活動を組み合わせた支援を行っておりますが、一部対応できていない活動もあります。 ◆まち「ピカ」パートナーとして地域の清掃活動を行っています。	◆今後の地域状況等を考慮しながら、必要に応じて検討して参ります。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		◆発語の少ない児童にも視覚で理解を促すツールやジェスチャーでコミュニケーションを図り、自己選択・自己決定できるよう支援を行っている。	◆発語の少ない児童の主訴を汲み取ることができず、不適切な行動が表出してしまうこともあるため、まずは愛着形成が必要だと感じています。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		◆相談支援事業所や学校との打ち合わせや子ども部会等には児童発達支援管理責任者か保育主任、担当職員が必ず参加しています。	◆学校の下校時間後などの会議は複数人での参加が難しく、違う立場からの意見や質問ができない場合もあります。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。		○	◆医療的ケア児の受け入れにあたっては、医師の指示書の確認、学校等との連携体制を整え、職員による医行為は行えない旨を保護者様に十分説明し、了承の上で利用いただいています。	◆今までに児童の個々の主治医と直接やり取りしたことはありません。特別な事情のある児童に関しては相談支援事業所が主体となってケース会議等を開催、参加をしています。

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
関係機関や保護者との連携	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		◆特別支援学校においては、あんしんメールでの情報提供や学校送迎時に相互の情報共有等を行っています。	◆市立学校においては担任教諭の対応に差異があります。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		○	◆相談支援事業所の担当者により情報共有を受け、必要に応じて学校とのケース会議を開催しています。	◆今後必要に応じて実施を検討して参ります。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		○	—	◆現在までに該当する児童がいないため行った実績はありません。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		○	—	◆これまでにセンター等から直接の助言をいただく機会はありませんでしたが、今後必要な研修等は積極的に受講していきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○	◆近隣地域ではないですが、市内のイベント会場で「だがしやチャレンジ」に挑戦するなど地域交流を図っています。	◆現時点では、放課後児童クラブや児童館と特別な機会を設けて交流することは難しいと考えております。
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	○		◆定期的に開催されている放デイネットワーク会議や子ども部会(室蘭市・相談支援事業所・障害児通所支援事業所で構成)等へ出席し、情報交換をしています。	◆開催頻度が少なく限られた時間の中であるため、十分な情報交換ができているとは言えないと感じています。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		◆日々の送迎時にその日の活動内容や児童の反応・様子をお伝えし、課題等の共通理解ができるよう心掛けています。伝えきれない内容等はHUGやLINE等のツールを活用し共通理解に努めています。	◆一部の保護者様からの共通理解ができないとのご意見を真摯に受けとめ、今後は面談の機会を作る等、更なる共通理解に努めて参ります。
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		◆保護者様の状況を見ながらお声掛けし、必要に応じて相談支援を行っています。	◆今後必要に応じてペアレント・トレーニング等を実施できる体制を整えて参ります。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		◆ご契約時や改定時に重要事項説明書等にて丁寧に説明する事を心掛けています。また、重要事項説明書はいつでも誰でも閲覧できるよう、ファイリングして玄関ホールに設置しています。	◆今後も改定等がある際にはわかりやすくご説明できるよう努めて参ります。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		◆こどもの最善の利益を念頭におき、意向を窺うときにはできるだけオープンエスチョンを用いて、自由に意見を言える雰囲気を作っている。	◆発語の少ない児童の主訴を汲み取ることができず、保護者様の意向等を参考に作成している。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		◆原案を作成し、支援内容の説明を行い、同意を得ています。	◆面談の機会を作ることができない場合には、送迎時や電話等で説明しています。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		◆相談時にはゆったりとした気持ちでお話ができるよう、プライバシーに配慮するなど適切に対応するように心掛けています。	◆保護者様の何気ない一言を汲み取り、悩みや相談ごとがないかお声掛けするなど早期に相談に応じられるよう支援体制を整えています。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		◆1、2ヶ月に一度程度、親子参加行事や参観日、茶話会等を開催し、保護者様同士の交流機会を作り情報交換をさせていただいています。今後も交流機会を積極的に企画して参りたいと考えています。	◆現在のところ『父母の会』を設置する予定はありません（保護者様同士の親睦や協力体制を作ることができる一方、運営主体が保護者様となりご負担がかかるため）。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		◆苦情の窓口・対応については、ご契約時に文書にて周知・ご説明をしております。いただいた相談や申し入れに対しましては、真摯に受け止め、迅速かつ適切に対応しています。	◆実際にどのような申し入れがあったかどうかについては、個人情報保護の観点から公表することが適当ではない場合もあり、必要と判断した案件につきましては、適宜保護者様に周知して参ります。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		◆年間スケジュールや重要な内容等は文書にてお知らせしています。また、HUGにて活動概要や行事予定を公開しています。 ◆昨年12月より、月刊通信『ぶりますてら』を発行し、活動の様子等を発信しています。	◆ホームページ等を活用し、更なる情報発信に努めて参ります。

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
保護者への説明等	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ◆個人情報に記載された書類、ノートパソコンは使用中を除き、常時鍵付きキャビネットに保管することとしています。 ◆職員に対しては、入職時及び退職時に漏洩することのないよう誓約しています。 	◆個人情報の取扱いにあたっては、ご契約時に使用目的等について保護者様に確認し、文書にて了承を得た上で関係機関との連携・その他必要に応じ使用させていただいており、今後も十分注意して取り扱うものとします。また、職員に対し定期的な研修を実施して参ります。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ◆子ども一人ひとりの特性・困り感を把握した上で、必要な配慮をしています。 ◆保護者様には簡潔でわかりやすい文書を作成してお渡しする等の工夫をしています。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆発語の少ない児童の主訴を汲み取ることが難しい場合は、まずは愛着形成を行い、発する言葉に耳を傾けている。 ◆保護者様には 	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	◆職員が町内会のお花見や大掃除等に参加し、関係性を作っている。今後、スポーツ交流やボランティアの受け入れ等を行う予定です。	◆今年度は未実施です。今後は町内会等にご理解・ご協力をいただき、必要に応じて実施して参りたいと考えています。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		○	◆各マニュアルを策定し、職員全員に周知しています。	◆保護者様には重要事項説明書に記載のある一部のみの周知に留まっているため、今後必要に応じて周知して参ります。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		◆安全計画を書面で周知しておりませんが、令和6年度は安全計画に基づき子ども達の安全の確保に努めるとともに、3回の安全教室を実施しました。	◆今後は自然災害の他、不審者対応や近隣避難場所までの避難、外出先における避難場所の把握等に努めるなど回数を増やして行く予定です。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		◆常用している薬やアレルギーの有無は契約時等に調査票にて記載をお願いしています。また、てんかん発作時等の対応方法は保護者様に共有いただき適切に対応しています。	◆3歳頃までてんかん発作があった児童が、その後服薬もなく落ち着いていたが高校入学後に発症し、改めて成育歴の確認を行ったケースがありました。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○	◆ご契約時に保護者様からの聞き取りや医師の指示書をもとに、アレルギー表を作成して対応しています。	◆万が一に備えて、今後はアナフィラキシーショックの症状や初期対応の方法などについての勉強会を行って参ります。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		◆令和6年度は安全計画に基づき子ども達の安全の確保に努めるとともに、3回の安全教室を実施しました。	◆室内・室外活動、送迎時の安全確認など必要に応じて行っておりましたが、まだまだ十分とは言えず、次年度は安全計画の見直しや必要な訓練等を行って参ります。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		○	◆安全計画に基づいた各種点検や研修、児童向けの安全教室を行っていますが、取組内容についてご家族への周知はしていませんでした。	◆今後はお便りや療育システム等で周知、情報発信を行っていきたくと考えています。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		◆ヒヤリハット事例が起こった際には、ヒヤリハットの報告書を作成・保管し、職員間で共有しています。	◆今後も随時共有を徹底し、安全・安全な事業運営を行って参ります。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		◆虐待防止に関する研修を定期的開催しています。また、疑問に感じたことは職員間で共有し、必要に応じて検討の場を持っています。	行政機関主催のオンライン研修・確認テストを行っているが、事業所内の事例検討にまでは至っていないため、今後行って行きたいと考えています。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		◆身体拘束は行っていませんが、活動時の子どもの安全確保のため最低限の行動制限を行う場合があり、該当児童の保護者様には事前に説明し了承を得ています。	◆成長に伴い体力も力も付いてきているため全身で押されると力負けしてしまうこともあり、見方によっては行動制限や身体拘束のように見えてしまうため、適切に対応しなければならぬと感じています。	